

防災会だより

第1号

発行 恵み野南
自主防災会
連絡先：天坂（37-3398）

《防災会だよりの配布について》

突然、ドンという大きな音と共に家が大きく揺れた9月6日未明の恐ろしい体験は忘れられません。震源地となった胆振東部（厚真、安平、むかわ）そして札幌市清田区やお隣の北広島市では今も大変な生活を送っておられるところであり、心からお見舞い申し上げます。

まさか「これ程大きな地震がわが身に降りかかるなんて」と思っておられた方は少ないと思います。阪神淡路大震災や、熊本地震では、「地震の少ない地域」との思い込みから地震対策が十分に行われていたとは言えない地域であり、被害が拡大したとも言われています。

一昨年末に千島海溝のプレート型地震の可能性が切迫しているとの政府発表（裏面参照）があり、また石狩平野に新たな潜伏断層の存在が発見される等、我々の住む恵み野地区も安閑としてはおれません。災害から身を守るためには、自らの命は自ら守るという心構えと日ごろからの備え、そして地域のつながりが大事です。

恵み野南自主防災会は、近い将来起こるかもしれない災害に対処するため、町内の皆さんと一緒に考えたく、この度「防災会だより」（数回／年）を配布することと致しました。紙面には「過去の体験談」や「防災クイズ」も盛り込む予定にしています。体験談を他山の石とし、また御家族でクイズに挑戦して頂くことで、少しでも皆さんの実施する災害対応に役立てばと思っています。

他山の石

石川県（穴水町 60代 女性）平成19年能登半島地震 [「息子の忠告聞き流す」](#)



うちは畳の上にジュウタンを敷いていて、置いていた家具が全部倒れてしまいました。板の間に比べると畳は少しフワフワしているから、よけい倒れやすかったようです。

阪神淡路大震災の神戸の人たちを気の毒やなあと思っていただけでした。整理ダンスの上とかに書類を入れたカラーボックスをいくつものせていて、息子から「地震がきたら全部落ちるぞ」と言われていたのに。

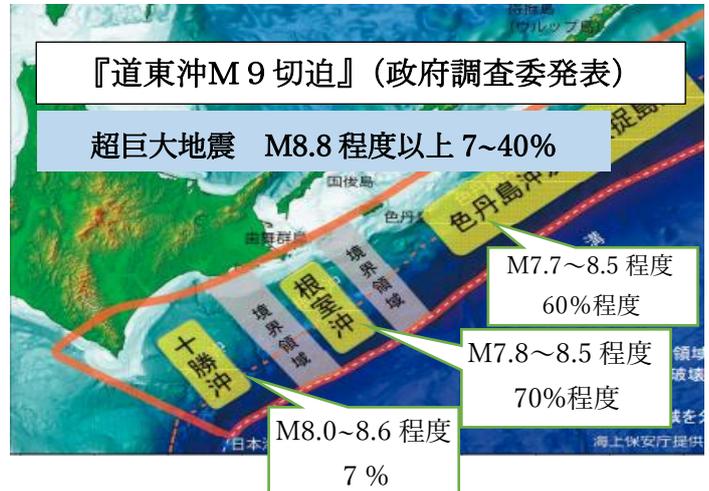
2017年12月に政府調査委が『道東沖M9切迫』と発表しました。

北大地震火山研究観測センターによると、M9の地震が起こったら、北海道全域で震度6強以上の強い揺れが発生するとのこと。

2003年に発生した十勝沖地震は、M8.0で、恵庭では震度4でした。

マグニチュードが1.0上がるとそのエネルギーは32倍（右下の表参照）となります。

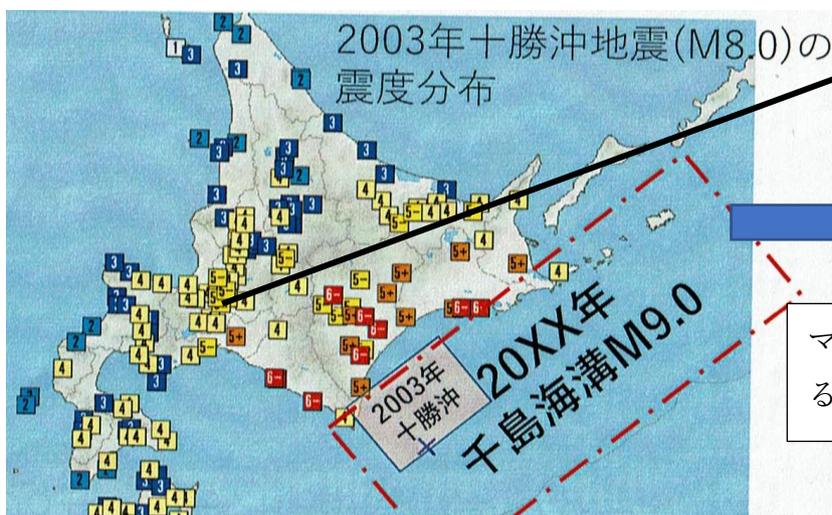
また、我々が体験した北海道胆振東部地震では、震度5強で10秒前後の揺れでしたが、海溝型（プレート型）地震である東日本大震災では3~5分という長時間の振動が発生しました。



マグニチュードとエネルギーの関係

マグニチュード	エネルギー	地震の例
M7.0	1	2016 熊本地震
M8.0	32倍	2003 十勝沖地震
M9.0	1024倍	2011 東日本地震

もし、政府調査委の発表する「千島海溝でM9.0の地震」が発生した場合、恵庭市では、震度6強で且つ長時間の揺れが発生します。



マグニチュードが1.0大きくなると約32倍のエネルギーとなる

恵み野の震度は：震度6以上が予想される。